

情報化社会の進展や市民意識の変化に伴い、生涯学習に対する市民の関心が高まる中で、市民の自主的な学習意欲に応え、地域文化を振興し創造発展させる場が求められています。同時に、社会環境が激しく変化する昨今においては、子どものみならず子育てをしている親の側も悩みや不安を抱えており、家庭教育と学校教育相互が連携した支援が求められています。

こうした中、市の中心部に教育関連施設や児童福祉関連施設を集約し、各施設が相互に連携し教育と福祉が一体となった継続的な支援が可能となる（仮称）教育福祉総合センターを建設します。つづじが丘南小学校跡地を活用し、学校の面影を残しつつ、市民の交流の場と課題解決を支援する知の拠点として整備します。



The diagram illustrates the 'Learning Loop' (学びの回遊) concept. It shows a central circular node labeled '学びの回遊' (Learning Loop) connected to four surrounding nodes: '文化の拠点郷土資料室' (Cultural Hub - Local History Room), '知の拠点図書館' (Knowledge Hub - Library), '活動の拠点既存体育館' (Activity Hub - Existing Gymnasium), and '学びの拠点既存校舎' (Learning Hub - Existing School Building). Arrows indicate a clockwise flow between these points.

学びの回遊

様々な施設を一つの小学校の敷地の中に複合し、有機的につなげます。

お互いの活動を触発することで、昭島ならではの活動や交流を発信できる新たな「学び舎」をつくります。

この学び舎は、校庭に位置する「知の拠点＝図書館」を核として、「文化的拠点＝郷土資料室」、「学びの拠点＝既存校舎」、「活動的拠点＝既存体育館」などを連携させ、新たな交流を生みだします。

この交流は、市民を育み、新たな出会いを見つけ、昭島の未来をつなぎ、広がる「学びの回遊」となります。

さらに、教育施設と児童福祉施設を集約することで、教育と福祉が一体となった継続的な支援が可能となり、同様の立場にある市民が集う機会を創出し新たな交流を生みだします。

学びの回遊と拠点

The map highlights the proposed 'Education and Welfare Comprehensive Center' (仮称) located near昭島駅 (Showa Station) and 中神駅 (Nakagami Station). It also shows the location of the昭島市役所 (Showa City Hall), 国営昭和記念公園 (National Showa Memorial Park), 東京環状16号線 (Tokyo Circular Route 16), and various public facilities like 公園・運動場等 (Parks and Sports Fields) and 市民図書館、図書館分館・分室 (Public Libraries, Branches).

昭島市のつながりの拠点となる施設

広域の回遊

昭島市北部には玉川上水や昭和の森など自然豊かな環境、南部には多摩川に沿った豊かな土地を活かした農地と住宅地が広がる地勢を有しています。その中心部に位置する本施設は、利便性の高い立地で、(仮称)教育福祉総合センターの方針である「つなぐ・広がる・見つける・育む」活動をより効果的に行なうことが、可能になります。

より多くの市民に対して課題解決に向けた多様な情報やサービスを提供するために、市内の図書館ネットワークや近隣のKOTORIホール（昭島市民会館）・公民館との連携を促進させ、複合施設ならではの相乗効果を発揮し、市内の様々な地域資源・情報コンテンツをつなぐ「文化の回遊」の拠点をつくります。

An architectural rendering of the proposed building complex. The main building features a large glass facade and a curved roofline. To its left is a smaller, modern building with a white facade. In front of the main building is a landscaped area with trees and a paved walkway where people are walking. To the right, there are railway tracks with a train passing by. The background shows a dense urban landscape with many buildings under construction or completed.

鳥瞰イメージ

各機能のサービス

新築棟

新築棟(国際交流教養文化施設)は、地域に開かれた知の拠点として、市民の学びを支え、暮らしに役立ち、人と本、人と人のよりよい出会いの場であり、幼い頃から読書習慣を身に付けるための支援を行う図書館サービスと、郷土文化の資料の収集・情報発信の拠点として、市民と共に郷土文化を育むための郷土資料展示サービスを行います。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催などによる国際化の進展に併せ、国際文化交流事業を推進します。

○図書館機能のサービス計画

- ①利用者の年齢層やニーズに沿った蔵書及び情報を提供します。
- ②効率的に知的・専門的作業を行う学習室等を提供します。
- ③必要な情報を収集するための支援や、読書習慣を身に付けるための支援を行います。
- ④市内の分館・分室、学校図書館を支援し、図書館ネットワークを構築します。

○郷土資料室のサービス計画

- ①常設展示及び特別展示により郷土文化の魅力を伝えます。
- ②郷土文化の知識を深めるための講座などを実施します。
- ③デジタルによる保存を進め、インターネット等での情報発信を行います。
- ④貴重な文化財を次世代へ受け継ぐため、所蔵品の適切な管理・保存を行います。

○その他共有空間のサービス計画

- ①市民がグループでの学習や会議、共同作業等を行うスペースを提供します。
- ②市民による団体・サークルや、図書館をはじめとする各施設が主催する企画展示やイベント等の会場として活用します。
- ③気軽に立ち寄り、リラックスして休憩や談話ができるカフェ等を設置します。
- ④子育て世代の人々が利用できるように、子どもの一時預かりを行います。

既存校舎棟

教育センター、子ども家庭支援センター、児童発達支援担当など教育や子育て等に関する支援を行う機能を集約します。窓口を一本化し、各機能が連携・継続した支援を行います。

○教育センターのサービス計画

- ①児童・生徒や保護者に対する教育相談・支援サービスを提供します。
- ②不登校児童・生徒に対する学校復帰のための学習指導や進路相談を実施します。
- ③教育に関する各種研修の受講や各種教材の作成・編集、指導方法を学ぶための場を提供します。
- ④特別支援教育に関わる相談・支援サービスを提供します。
- ⑤就学相談等に関わる行動観察サービスを実施します。

○男女共同参画センターのサービス計画

- ①専門カウンセラー等による女性悩みごと相談を実施します。
- ②男女共同参画に関する情報誌作成、講演会・セミナーを開催します。
- ③男女共同参画に関連した市民および団体に対し、交流の場と学習や活動のための拠点を提供します。
- ④利用者がくつろいた雰囲気で自由に交流や学習、活動ができる場を提供します。子どもが遊べるスペースを併せて提供します。

○郷土資料室(収蔵庫・体験展示)のサービス計画

- ①文化財所蔵品の整理、保管、管理を行います。
- ②市民が郷土資料に親しみ、興味を持つことが出来る体験プログラムを実施します。

○その他共有空間のサービス計画

- ①教育と福祉の相談窓口を一本化し、適切な相談及び支援につなぐため、総合相談窓口を設置します。
- ②市民活動を支援するため、会議室等を提供します。
- ③地域で活動する団体の拠点として、定期的な会議を行う施設、団体のコミュニティ活動の場を提供します。
- ④災害時の避難所生活者用の物資等を備蓄します。

○子ども家庭支援センターのサービス計画

- ①子どもと家庭の問題に関する相談業務を実施します。
- ②児童虐待に関する相談等を実施します。
- ③子どもと家庭の問題に関する会議を行うための場を提供します。
- ④市内の子育てグループのネットワークの強化を図るため、子どもに関わる団体が利用できる場を提供します。
- ⑤子ども用のトイレ・シャワー室、おむつ替えスペース、授乳室を設置します。

○児童発達支援担当のサービス計画

- ①特別な配慮が必要と思われる18歳未満の児童の発達に関する相談業務を実施します。
- ②児童の特性を把握し、お子さんの成長に応じた発達支援を行います。また、教育・保育施設等に所属しながらの利用も可能です。
- ③発達障害についての講演会や、講座を実施します。

○子育てひろばのサービス計画

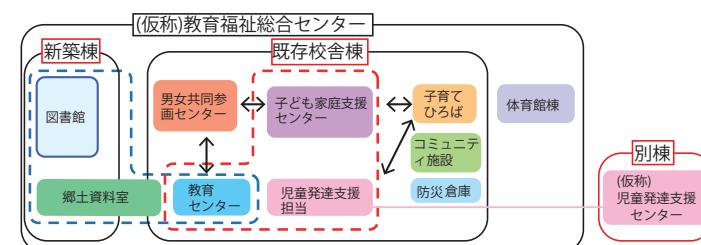
- ①子育て家庭の親とその子どもの交流の場を提供し、交流を促進します。
- ②利用者の個別ニーズに基づいた情報の集約・提供、相談、利用者支援等を行います。
- ③子ども用のトイレ・シャワー室、おむつ替えスペース、授乳室を設置します。

連携の考え方

図書館、郷土資料室、教育センター、男女共同参画センター、児童発達支援担当、子ども家庭支援センター、子育てひろばの7つの施設が一体的に連携することで、児童から成人に至る一貫したサービスを提供します。

また、同一敷地内に建設予定の(仮称)児童発達支援センターと連携し、継続した支援を行います。

これまでそれぞれの機能が個々にサービスを提供していましたが、それらの機能を併設することで新たなサービスの創造やサービスの向上が期待できます。



各機能連携イメージ

敷地概要

計画地 :	昭島市つじが丘 3-3-15 (つじが丘南小学校跡地)
地域地区 :	準防火地域
用途地域 :	第1種中高層住居専用地域
敷地面積 :	16,499.73m ² (敷地南側緑地面積加算調整前) (うち1,326.67m ² は(仮称)児童発達支援センターの敷地分割)
法定建ぺい率 :	50% (つじが丘地区地区計画より建築可能建ぺい率40%)
法定容積率 :	150% (つじが丘地区地区計画より建築可能容積率100%)



敷地面積

記号	部分	面積(m ²)
A	本計画敷地	15,173.06
B	(別計画) (仮称)児童発達支援センター敷地	1,326.67
C	南面緑地(東京都排水施設部除く)	709.07
A+B	つじが丘南小学校跡地敷地面積	16,499.73
A+C	建ぺい率・容積率算定 敷地面積	15,882.13

建ぺい率・容積率(実施設計完了時点)

建築面積	6,249.36m ²
延床面積	11,571.61m ² (11,244.17m ²)
建ぺい率	39.35%
容積率	70.80%

緑地面積(実施設計完了時点)

緑地面積 (A+C敷地内)	2,817.34m ²

機能配置

階層	新築棟	既存校舎棟	体育館棟
1階	図書館・郷土資料室・シアター・企画展示・カフェ等	郷土資料室・教育センター・子育てひろば・子ども家庭支援センター・児童発達支援担当・コミュニティ施設・事務室・会議室・相談室等・防災倉庫	
2階	図書館・自動化書庫等	教育センター・男女共同参画センター・事務室・相談室・会議講習室等	
3階	機械室等	郷土資料室・教育センター・会議講習室等	体育館

各部門面積(実施設計完了時点)

既存校舎棟	部門	延床面積(m ²)
	教育センター	391.01
	男女共同参画センター	167.10
	郷土資料室	817.70
	コミュニティ施設	132.63
	児童発達支援担当	132.02
	子ども家庭支援センター	106.79
	子育てひろば	80.07
	その他	2,998.86
	合計	4,820.18

新築棟	部門	延床面積(m ²)
	1階図書館	1,558.71
	2階図書館	1,561.21
	図書館事務エリア	990.98
	郷土資料室展示室	257.08
	郷土資料室事務室	22.95
	シアター	113.47
	カフェ	85.48
	その他	616.54
	合計	5,206.41

◆新築棟 BDS内・外延床面積

[1階] [2階]
BDS内延床面積(m²) : 2,369.47 + 2,134.93 = 4,504.40(m²)BDS外延床面積(m²) : 279.27 + 120.88 = 400.15(m²)

◆図書館部門延床面積

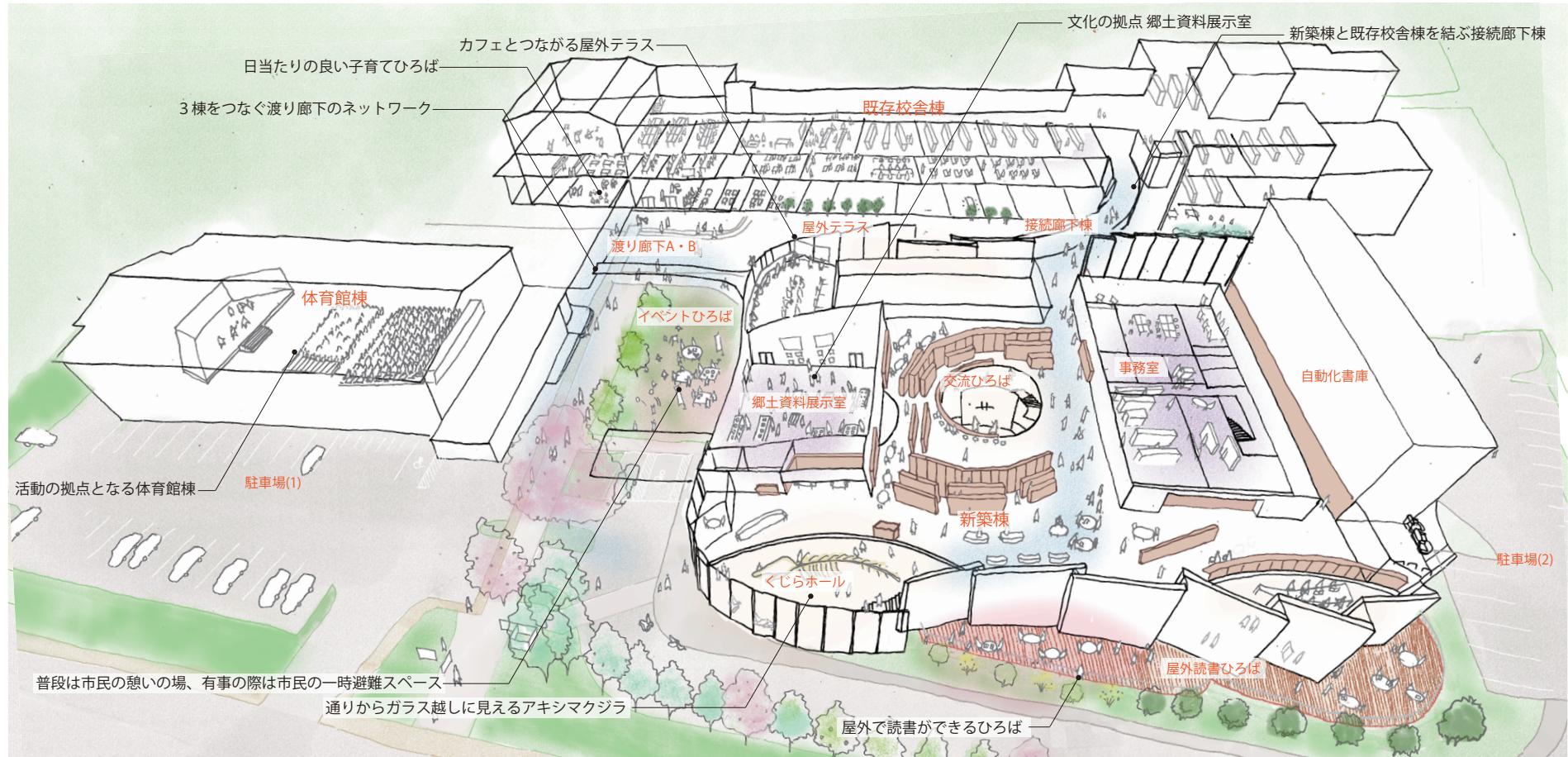
[1階] [2階]
図書館部門延床面積 : 1,975.97 + 2,134.93 = 4,110.90(m²)

面積表(実施設計完了時点)

	番号	名称	建築面積 (m ²)	階	延床面積 (m ²)	高さ (m)	備考
新築・増築建物	①	新築棟	3,041.69	1階	2,648.74 (2588.50)		【蔵書冊数】 開架: 約200,000冊 閉架: 約200,000冊 (自動化書庫) 【閲覧席】 308席 (1階: 168席, 2階: 140席) 【2階 学習室 席数】 48席 【2階 静寂読書室 席数】 7席 【グループ学習室】 5室 【録音室】 2室 【対面朗読室】 1室 【講習・研修室】 3室 【子ども一時預かり】 1室
				2階	2,255.81 (2244.35)		
				3階	301.86 (297.00)	14.75	
				計	5,206.41 (5,129.85)		
	②	接続廊下棟(EV・EVホール含む)	76.53	3階	122.86 (73.03)	12.25	
	③	校舎エレベーター棟	60.99	3階	84.42 (53.61)	12.25	
	④	渡り廊下A	10.90	1階	0.00	3.55	
	⑤	車イス駐車場屋根A(新築棟)	43.45	1階	34.20 (0.00)	3.57	2台
	⑥	車イス駐車場屋根C(体育館棟)	16.80	1階	11.52 (0.00)	2.77	1台
	⑦	駐輪場B(既存校舎棟)	0.00	1階	24.21 (0.00)	2.33	18台
	⑧	駐輪場A(新築棟)	0.00	1階	90.42 (0.00)	2.35	90台
	小計			3,250.36	5,514.04 (5,256.49)		
既存建物	⑩	既存校舎棟(DS増築含む)	1,860.53	1階	1,823.95		既存校舎棟(DS増築含む)
				2階	1,490.69		
				3階	1,484.41		
				屋上階	27.13		
				計	4,826.18		
	⑪	防災倉庫	81.00	1階	81.00	10.05	
既存建物	⑫	倉庫	40.00	1階	40.00	7.45	
	⑬	体育館棟	950.88	1階	922.00		体育館棟
				2階	118.50		
				計	1,040.50		
	⑭	渡り廊下B	56.70	1階	0.00	3.55	
既存建物	⑮	備蓄倉庫	9.89	1階	9.89	2.72	
	小計			2,999.00	5,997.57		
	合計			6,249.36	11,571.61(11,254.06)		
	駐車場(1)30台 駐車場(2)27台 ※()内数値は容積率対象面積を示す						

今後の整備スケジュール(予定)



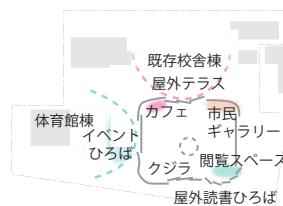


各棟との連携を促す、四周正面となる施設



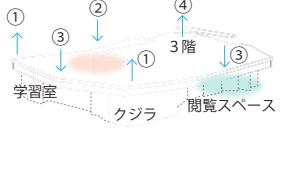
「校庭」の特性を踏襲し、裏のない四周正面となるような施設を計画することで、隣接する建物同士との関係性を高め、多様な連携が可能になります。連続させた壁に隙間を設けることで、人々を(仮称)教育福祉総合センターに誘い、交差する動線が新たな交流をつくります。

交流の「ひろば」をつくる



既存施設の外壁と並行に壁を設けるのではなく、各所にふくらみを設けた外壁は室内外に「ひろば」を生みだします。室内と屋外の「ひろば」を一緒に配置することで、敷地内の各所で連携と交流の輪が生まれます。

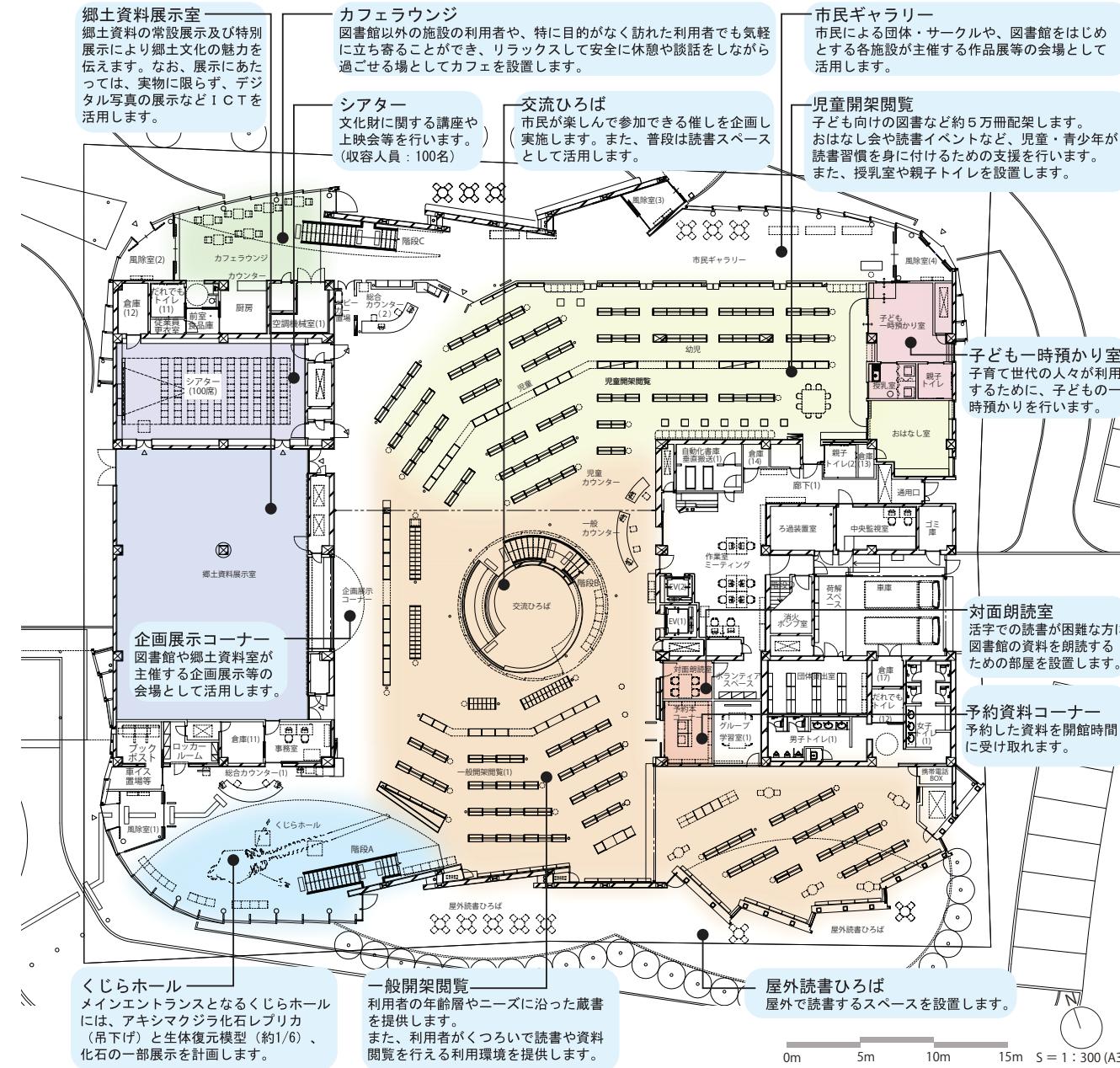
校庭に一つ屋根を架ける



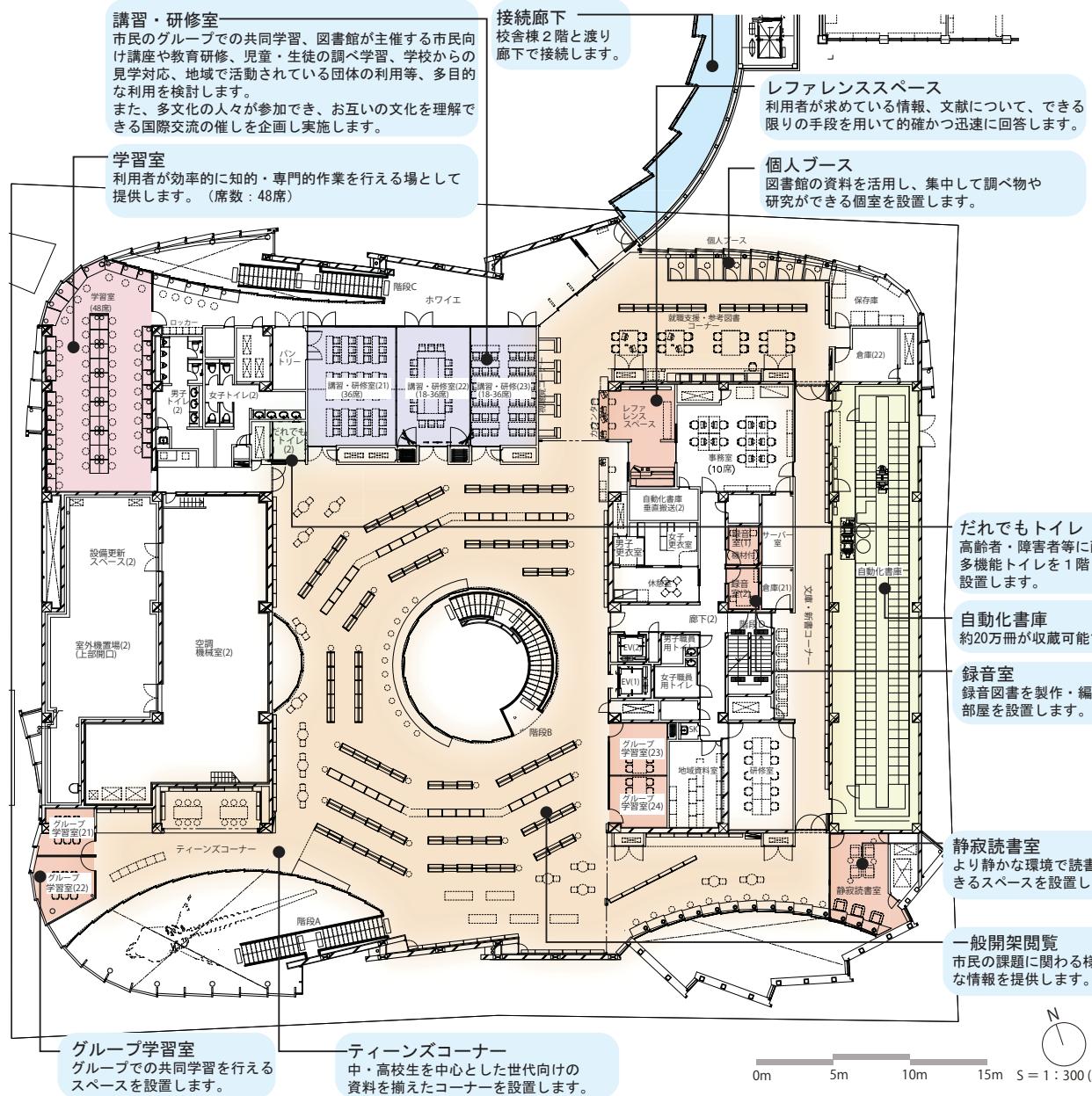
新築棟の屋根はそれぞれの場所に応じた高さにしています。

- ①人を招き入れたり、中の様子が外からも見えるよう屋根を高くしています
- ②北側の既存校舎棟と広場に配慮して屋根を低くしています
- ③壁面を小さくして建設コストを抑え、さらに雨水勾配を確保するために屋根を低くしています
- ④設備スペースやハイサイドライトを設けるために屋根を高くしています

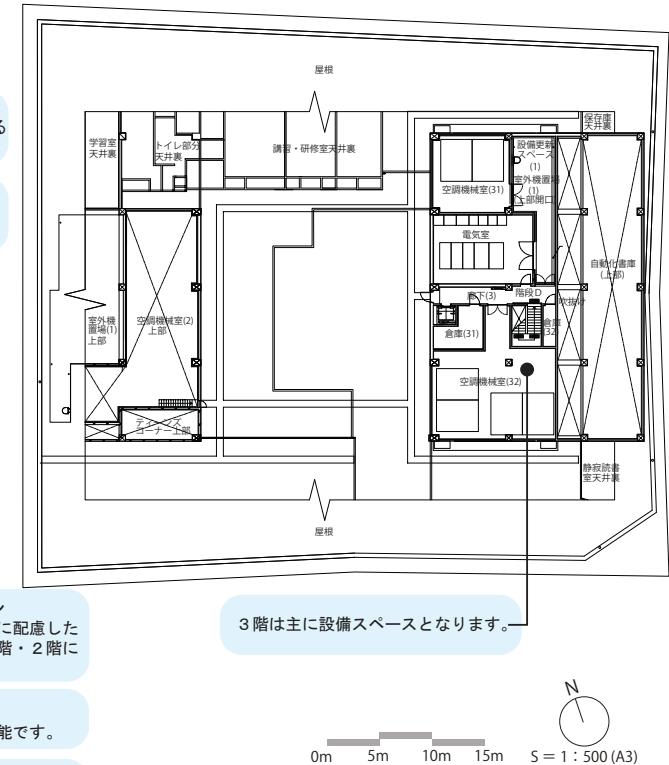
新築棟 1階平面図



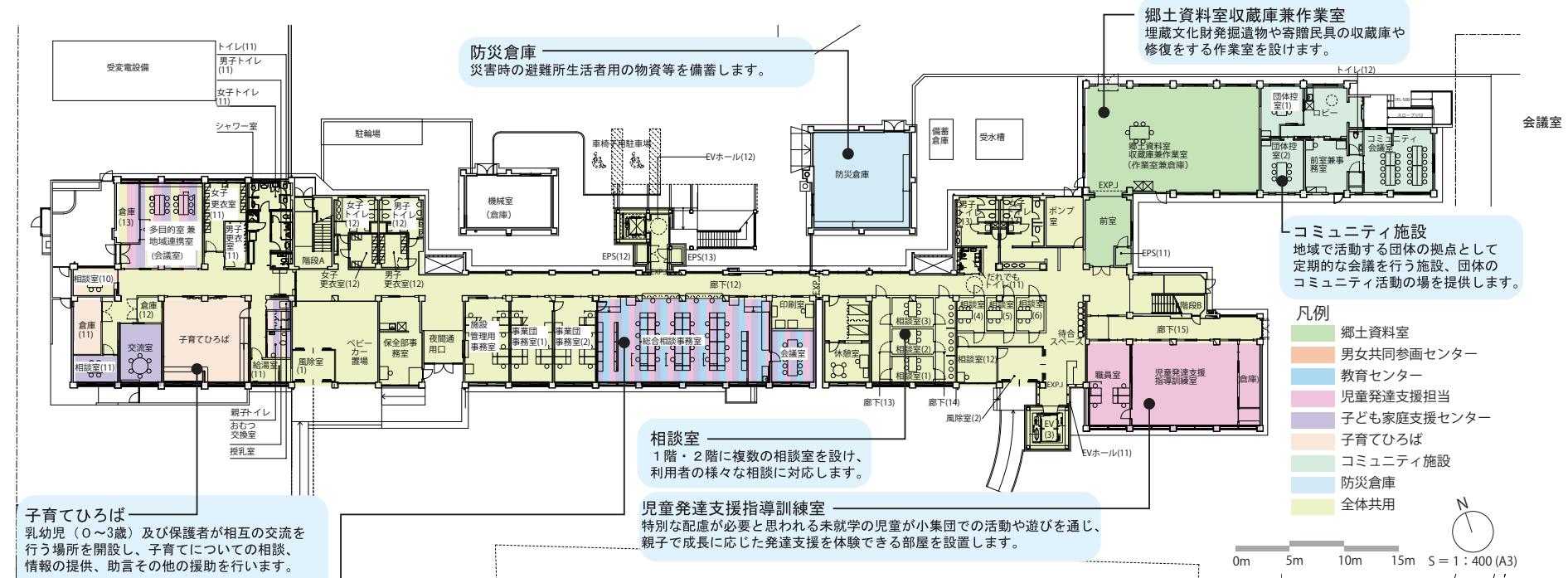
新築棟2階平面図



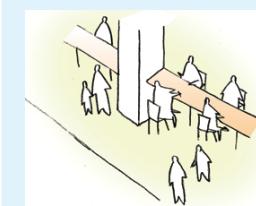
新築棟3階平面図



既存校舎棟 1階平面図

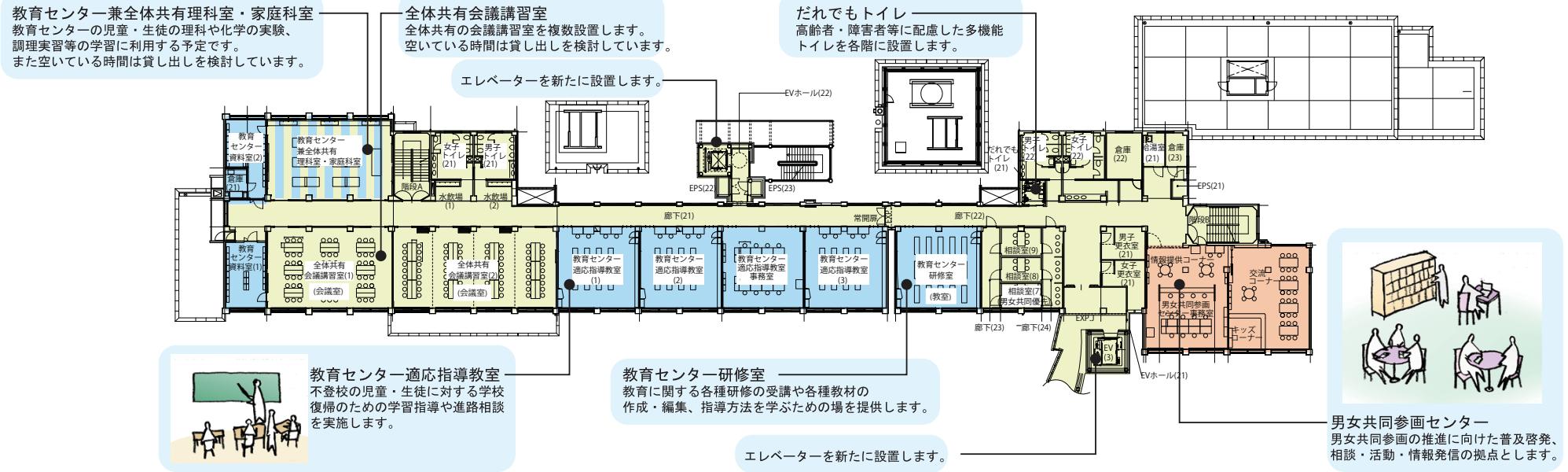


(仮称) 発達・教育総合相談窓口
福祉と教育の相談窓口を一本化することにより、適切な相談及び必要な支援につなぎます。

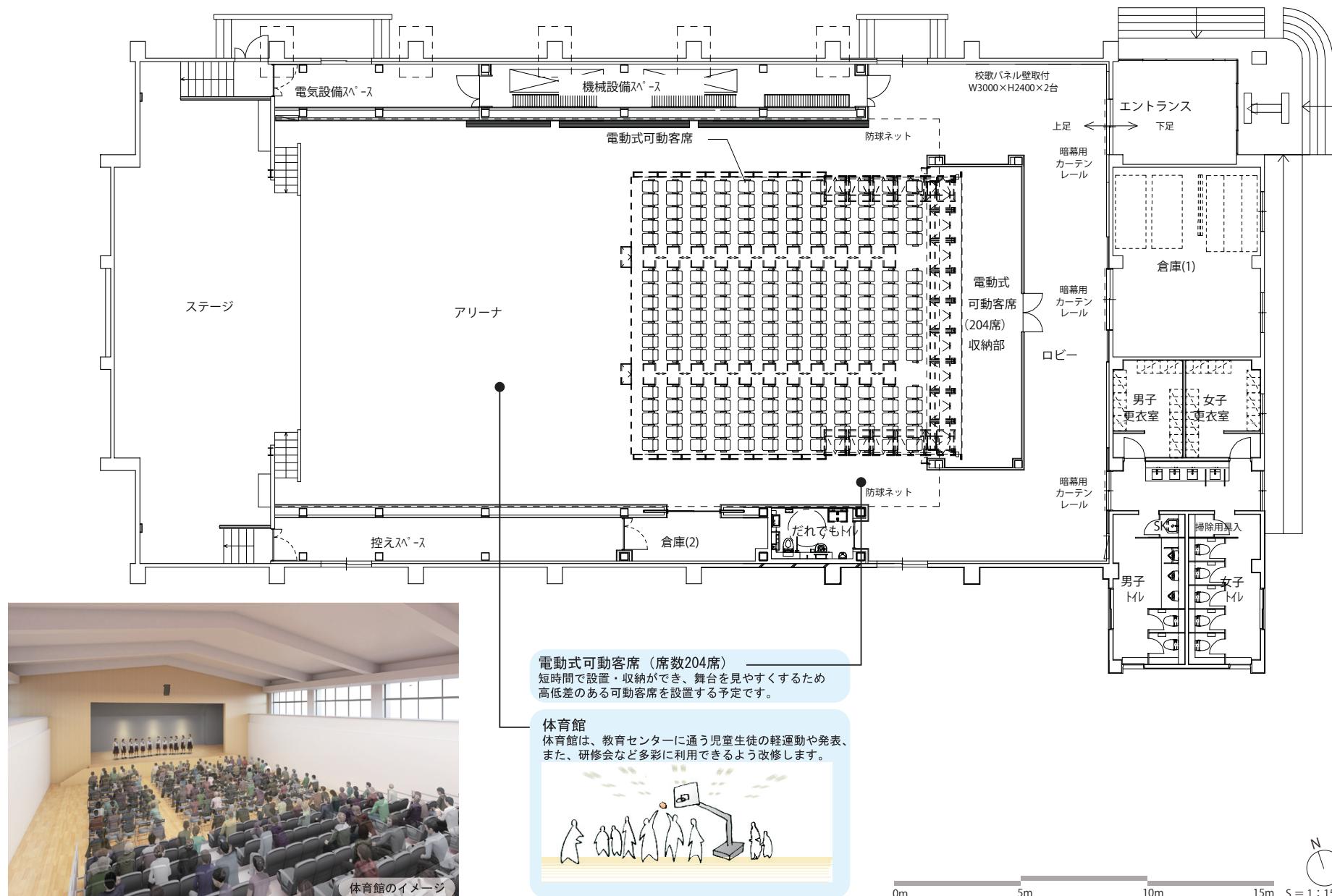


(仮称)教育福祉総合センター整備事業【概要版】 【平面図④】

既存校舎棟2階平面図



体育館棟 1階平面図



体育館のイメージ